

第11回「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」議事次第

平成19年7月26日（木）10時30分～12時30分
於：東海大学校友会館33F「望星の間」

議 事

- I 前回議事要旨の確認
- II 血液事業の動向について
- III ワーキンググループからの報告について
- IV 血漿分画製剤の製造体制の在り方について
- V その他

資 料

- 1 第10回「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」議事要旨（案）
- 2 主な血漿分画製剤の自給率の推移等について
- 3 血漿分画製剤の製造をめぐる当面の課題に関するワーキンググループからの報告について
- 4 血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会報告書骨子（案）

参考資料

- 1 「アルブミン製剤」及び「免疫グロブリン製剤」の国内自給推進のための方策に関するワーキンググループからの中間報告について
- 2 血漿分画製剤事業の現状【(社)日本血液製剤協会・国内3社】
- 3 血漿分画製剤”連産品”のコスト構造【PPTA（血漿蛋白製剤協会）】
- 4 血漿分画製剤国内自給推進へのご理解とお願い【国内4社リーフレット】
- 5 現在開発中の人血清アルブミン（遺伝子組換え）製剤の概要
- 6 諸外国で使用されている特殊免疫グロブリン製剤の現状【(財)血液製剤調査機構調べ】
- 7 血液製剤の輸出承認について（平成12年12月28日・輸出注意事項12第98号）
- 8 各国における製造供給体制【(財)血液製剤調査機構調べ】
- 9 欧州における分画【PPTA（血漿蛋白製剤協会）】
- 10 製造供給体制の在り方について【青木委員提出資料】
- 11 「新たな血液事業等の在り方について」（平成12年12月15日、中央薬事審議会企画・制度特別部会）に示された案について【第2回血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会（平成14年11月5日開催）資料Ⅲより】